

いいの事務所 ニュース

Iino Management & Labor Consulting Office

2013/08/10

VOL.31

I 叱られると「やる気を失う」56.8%

日本生産性本部が『第2回「職場のコミュニケーションに関する意識調査」結果を以下の通り公表しました。

1 部下の能力発揮と上司のサポートにちぐはぐ感がある。

①叱ることが「育成につながると思う」課長は89.0%いる一方、叱られると「やる気を失う」一般社員は56.8%に上っている。

②有益な情報の共有について、課長の57.7%が「共有されている」としたのに対し、一般社員は45.1%にとどまっている。

③部下を「褒めている」課長が80.3%いるのに対し、「上司は褒める方だ」と回答した一般社員は51.4%にとどまっている。

④職場で「率先して仕事に取り組んでいる方だ

と思っている」一般社員が78.3%いる一方で、部下、または後輩の仕事ぶりに「満足している」課長は37%にとどまっている。

⑤育成を「面倒だと感じない」課長が73.3%いる一方で、育成に「自信がある」課長は41.7%にとどまっている。

2 一般社員が、組織への貢献感や「いきいき」を感じられない傾向にある。

①自分自身が、組織にとって「重要な存在と思う」課長が73%だったのに対し、一般社員は49%にとどまっている。

②一般社員の62.5%が「疲れ気味」と感じている一方、部下、または後輩を「疲れ気味」と感じているのは49.7%にとどまっている。

II 30代、40代の約半数が「仕事にやりがいなし」

日本能率協会グループが発表した『第1回「ビジネスパーソン1000人調査」働き方に関する意識』によると、現在の仕事に対するやりがいについて、全体では「やりがいを感じている」(58.4%)、「やりがいを感じていない」(41.6%)となり、「やりがいを感じている」人が多い結果となっています。

また、現在の勤務先に対する愛着については、「愛着を感じている」(58.7%)、「愛着を感じていない」(41.3%)との結果が出ており、現在の仕事は自分の能力を発揮できているかどうかについては、「発揮できている」(55.2%)、「発揮できていない」(44.8%)となっています。

これを30代、40代にしぼってみると、「やりがい」について「やりがいを感じていない」が30代

で46.6%、40代で45.2%、「勤務先への愛着」について「愛着を感じていない」が30代で45.4%、40代で46.1%、「能力の発揮」について「発揮できていない」が30代で46.2%、40代で51.5%となっており、いずれも全体より高い割合となっています。

本調査の結果、多くの会社にとって、重要な地位を占めている30代、40代の労働者が、「仕事のやりがい」、「勤務先への愛着」、「能力の発揮」について、他の世代よりも否定的な意見が多いこと、また、Iの調査結果においても、一般社員の「いきいき」が感じられていないことが明らかにされており、企業にとって、従業員の満足度調査をするなどの何らかの対策の必要性があると考えます。

III 労働者派遣の規制緩和

厚生労働省の研究会は、①業務ごとに設けている3年の期間上限を廃止し、期間の上限を働く個人ごとに設ける(3年ごとに働く人を変えれば、同じ職場で継続的に派遣を受け入れられるようになる)、②派遣元と無期の雇用契約を結んだ労働

者は、期間の制限を受けずに働き続けられるなどの案を盛り込んだ報告書を公表した。来年度国会に改正案の提出を目指すとのことで、労働者派遣期間の上限は現行の「業務」から「人」へと見直されることになりそうです。